平成22年「証券投資についてのアンケート」調査結果報告書【簡易版】

Ⅰ 「証券投資についてのアンケート」調査結果 p 1
Ⅱ 「投資の日」イベントアンケート調査結果より p16

平成22年12月

日本証券業協会

I

証券投資についてのアンケート
調査結果

調査概要

【調査目的】

証券投資に対する信頼性を向上させ、証券市場のさらなる発展を目指すため、
現状における利用者等（投資家、投資経験者及び一般消費者）からの満足度、
意見等を把握し、今後の施策の検討に際しての基礎資料とする。

【調査対象】

全国の証券会社等の利用者及び未利用者

【回収数】

35,298サンプル

【有効回答数】

35,176サンプル

【調査方法】

① 書面によるアンケート調査

・ 証券会社等が主催するセミナー会場等への来場者に対しアンケート用紙を配布
・ 証券会社等の営業員を通じ、訪問先顧客等に対しアンケート用紙を配布

② ウェブサイトを通じたアンケート調査

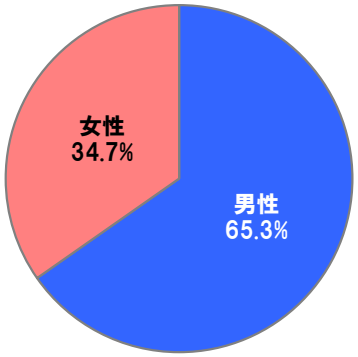
・ アンケート専用サイトを開設し、本協会及び証券会社等のウェブサイトからのリンクを通じて、
同専用サイトへの訪問者に対しオンラインアンケートを実施
・ 外部委託先の調査会社を通じ、アンケートモニターに対しオンラインアンケートを実施

【調査期間】

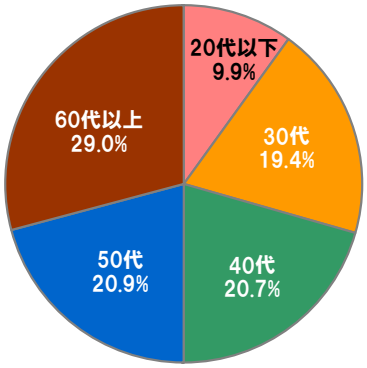
平成22年10月13日（水）～11月11日（木）

回答者属性

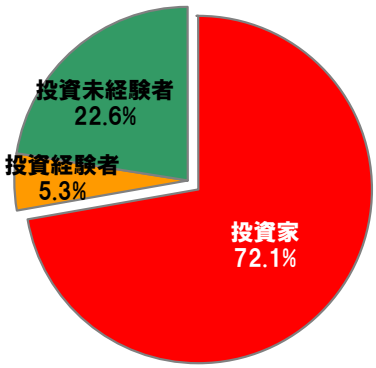
性別
（回答者数：35,165名）



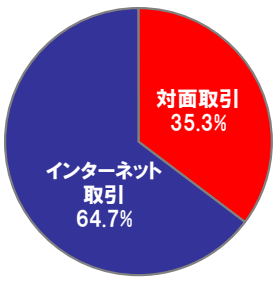
年代別
（回答者数：35,155名）



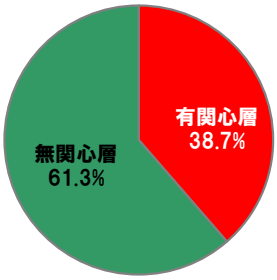
投資態度
（回答者数：35,176名）



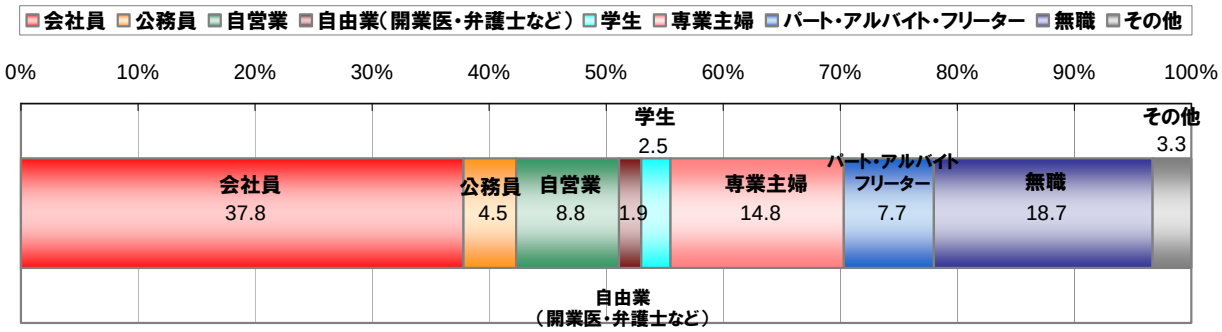
投資家内訳
（回答者数：25,367名）



投資未経験者内訳
（回答者数：7,947名）



職業別（回答者数：35,150名）



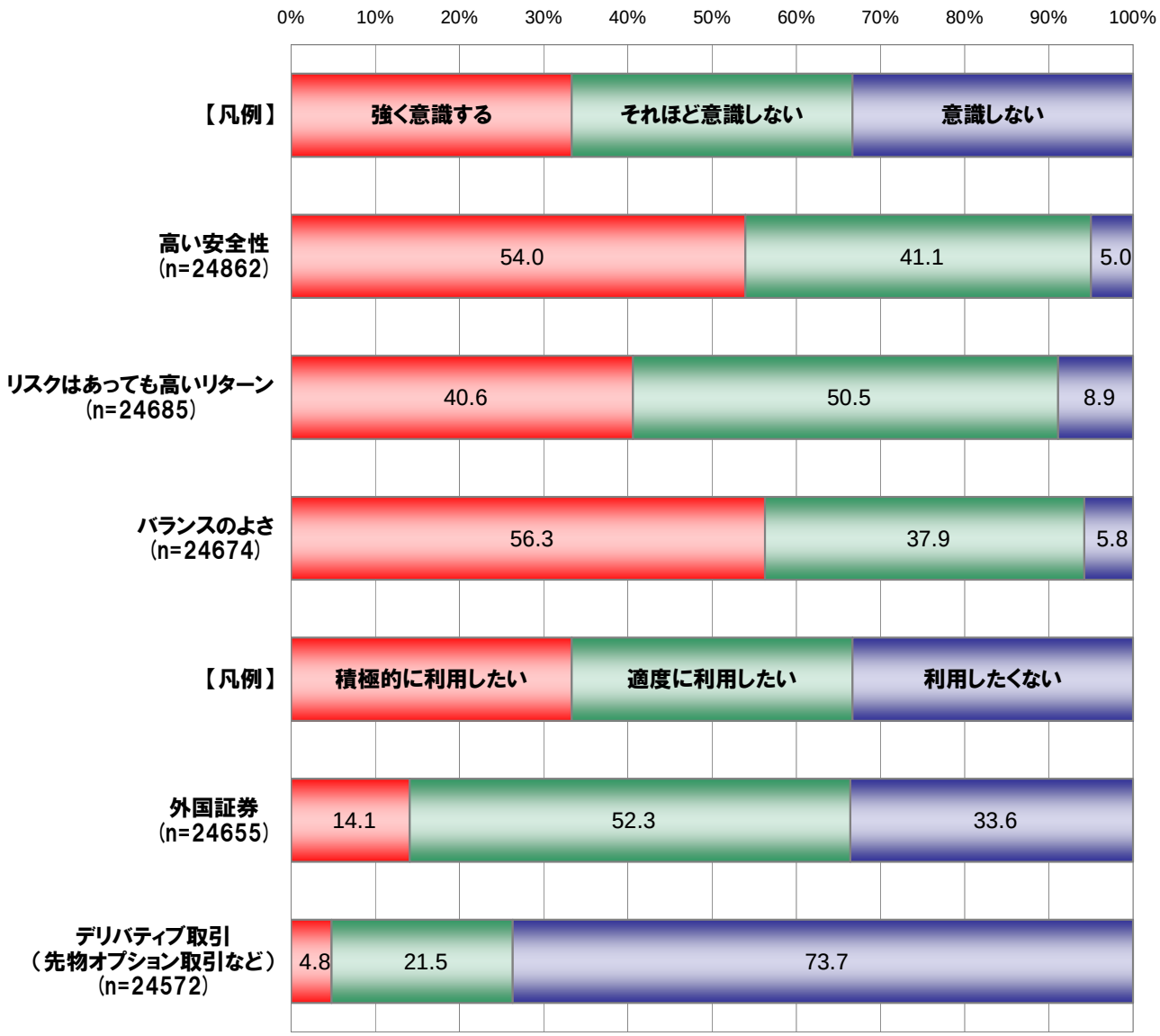
1.「投資家」と証券投資

1）証券投資に対する考え方

Q：あなたの証券投資に対するお考えをお聞かせください。

●投資家全体でみた「強く意識する」では、「バランスのよさ」が56.3%で最も高い。
次いで、「高い安全性」が54.0%。「リスクはあっても高いリターン」は40.6%に留まる。

●投資家全体でみた「積極的に利用したい」では、「外国証券」が14.1%。
「デリバティブ取引（先物オプション取引など）」の「利用したくない」が73.7%に達する。

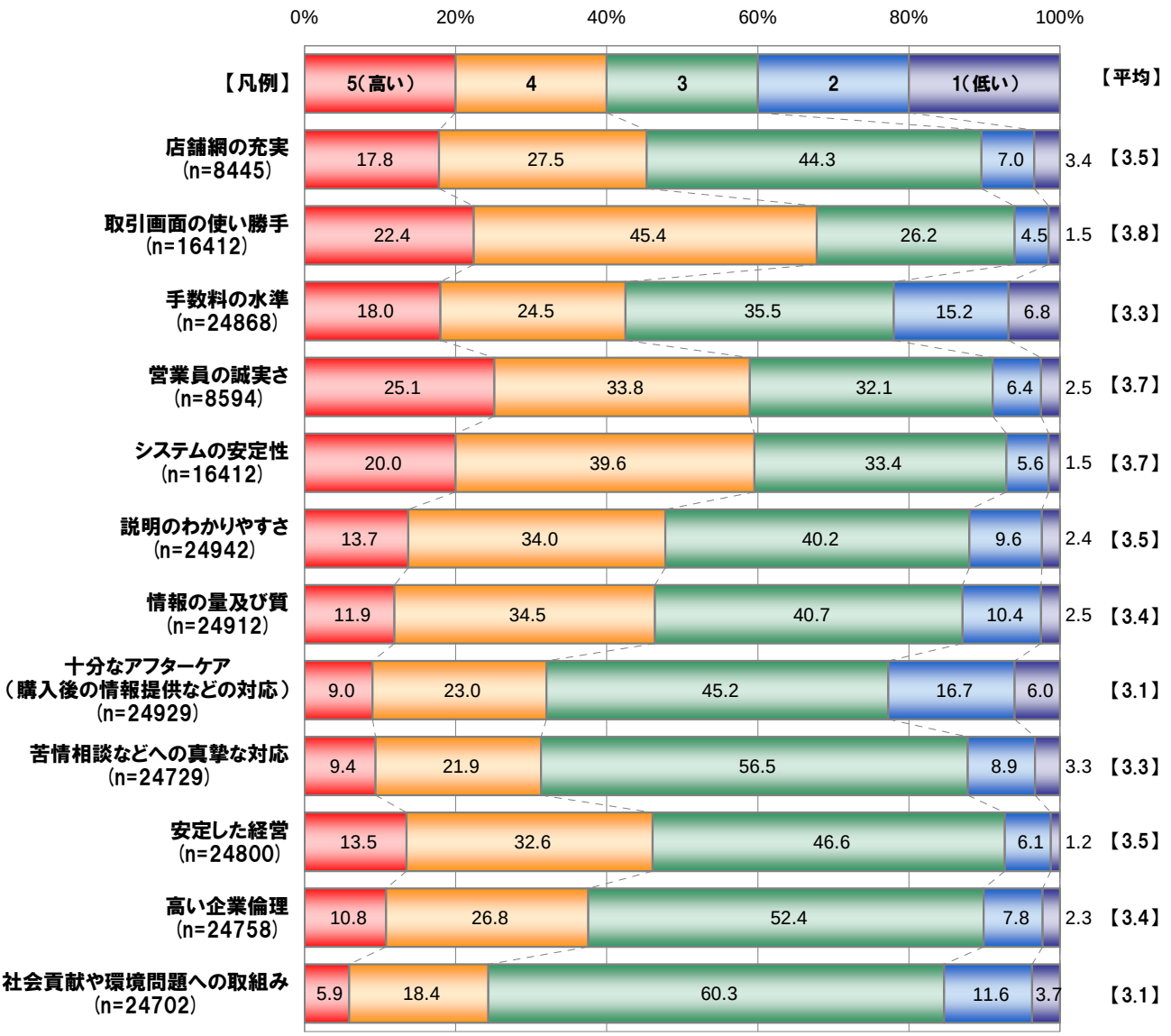


2）証券会社等に対する満足度と重視点-【満足度】

Q：以下の項目について、あなたがお取引をしている証券会社等（証券会社や投資信託を販売している金融機関）に対する満足度をお聞かせください。

●投資家全体でみた満足度「5（高い）」トップ5は、
1位：営業員の誠実さ（25.1%）
2位：取引画面の使い勝手（22.4%）
3位：システムの安定性（20.0%）
4位：手数料の水準（18.0%）
5位：店舗網の充実（17.8%）

●投資家全体でみた満足度スコア平均では、「取引画面の使い勝手」が3.8で最も高い。
次いで、「営業員の誠実さ」・「システムの安定性」が3.7。



1.「投資家」と証券投資

2）証券会社等に対する満足度と重視点-【重視点】

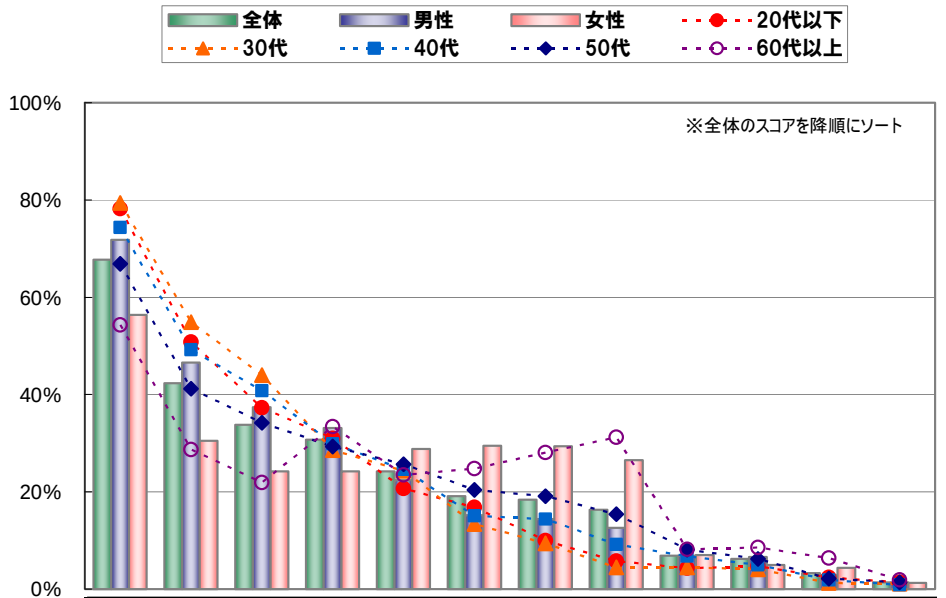
Q：前問の各項目のうち、あなたが特に重視するものをお選びください。（3つまで）

●全体でみると、「手数料の水準」が67.7%で最も高い。

●性別でみると「手数料の水準」では、男性71.8%に対し女性が56.4%で、男性の方が15.4ポイント高い。

●年代別でみると「手数料の水準」では、20代以下（78.2%）・30代（79.4%）が全体より10ポイント以上高い。

●投資態度でみると、対面取引では「説明のわかりやすさ」・「十分なアフターケア（購入後の情報提供などの対応）」・「営業員の誠実さ」が高く、インターネット取引では、「手数料の水準」・「取引画面の使い勝手」・「システムの安定性」が高い。



		(n=)	手数料の水準	取引画面の使い勝手	システムの安定性	情報の量及び質	安定した経営	説明のわかりやすさ	十分なアフターケア（購入後の情報提供などの対応）	営業員の誠実さ	苦情相談などへの真摯な対応	高い企業倫理	店舗網の充実	社会貢献や環境問題への取組み
全体 ※		23,599	67.7	42.3	33.8	30.7	24.2	19.1	18.4	16.3	6.9	6.2	3.3	1.4
性別	男性	17,255	71.8	46.6	37.4	33.1	22.4	15.2	14.4	12.6	6.9	6.6	2.9	1.4
	女性	6,343	56.4	30.5	24.2	24.2	28.8	29.5	29.4	26.5	7.0	5.0	4.4	1.3
年代別	20代以下	1,604	78.2	50.8	37.3	31.0	20.7	16.8	10.0	5.8	4.3	4.7	2.4	1.4
	30代	4,608	79.4	54.9	44.0	28.6	24.3	13.4	9.4	4.5	4.5	4.1	1.3	1.1
	40代	5,056	74.3	49.2	40.8	29.9	24.6	15.1	14.4	9.2	6.8	5.0	1.9	0.9
	50代	4,830	66.9	41.2	34.2	29.3	25.7	20.4	19.1	15.4	8.1	6.2	2.2	1.4
	60代以上	7,492	54.3	28.7	21.9	33.4	23.5	24.8	28.1	31.2	8.2	8.6	6.4	1.9
投資態度	投資家（対面取引）	7,187	40.7	-	-	35.5	23.7	36.6	41.9	53.6	8.2	7.3	10.9	1.9
	投資家（インターネット取引）	16,412	79.5	60.8	48.6	28.6	24.4	11.4	8.2	-	6.3	5.7	-	1.2

(%)

スコア：全体より10ポイント以上高いスコア　　スコア：全体より10ポイント以上低いスコア

※「取引画面の使い勝手」「システムの安定性」は投資家（インターネット取引）のみ
「営業員の誠実さ」「店舗網の充実」は投資家（対面取引）のみへの質問であるため、全体%は参考値。

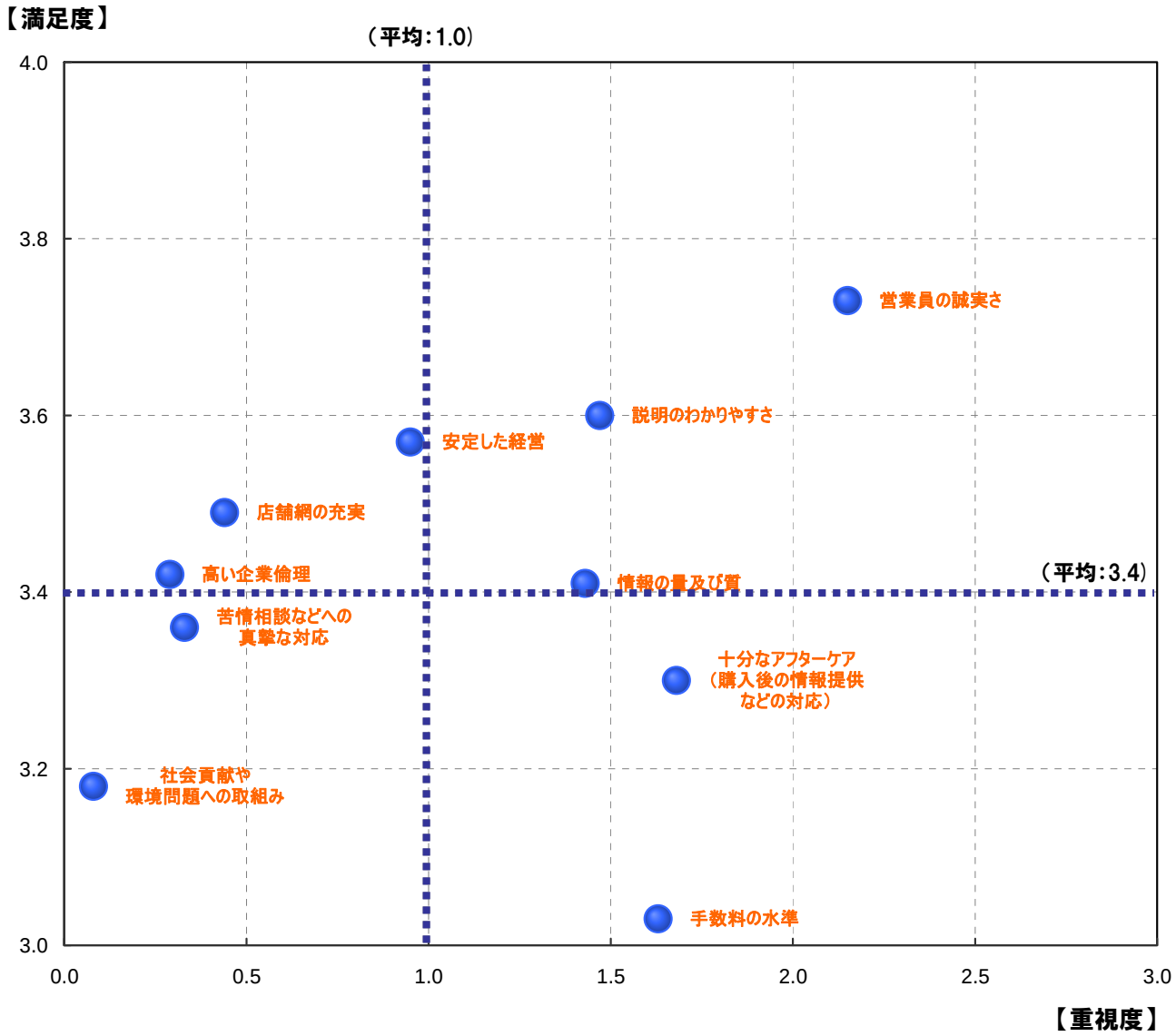
2）証券会社等に対する満足度と重視点-【対面取引】

●投資家（対面取引）において、5点満点での満足度の平均は3.4、重視度の平均は1.0であった。

●「営業員の誠実さ」が重視されており、満足度も高い。

●「十分なアフターケア（購入後の情報提供などの対応）」「手数料の水準」は重視されているが、満足度は項目平均以下であった。

●「社会貢献や環境問題への取組み」については、満足度が低いが、重視点としても低い項目であった。

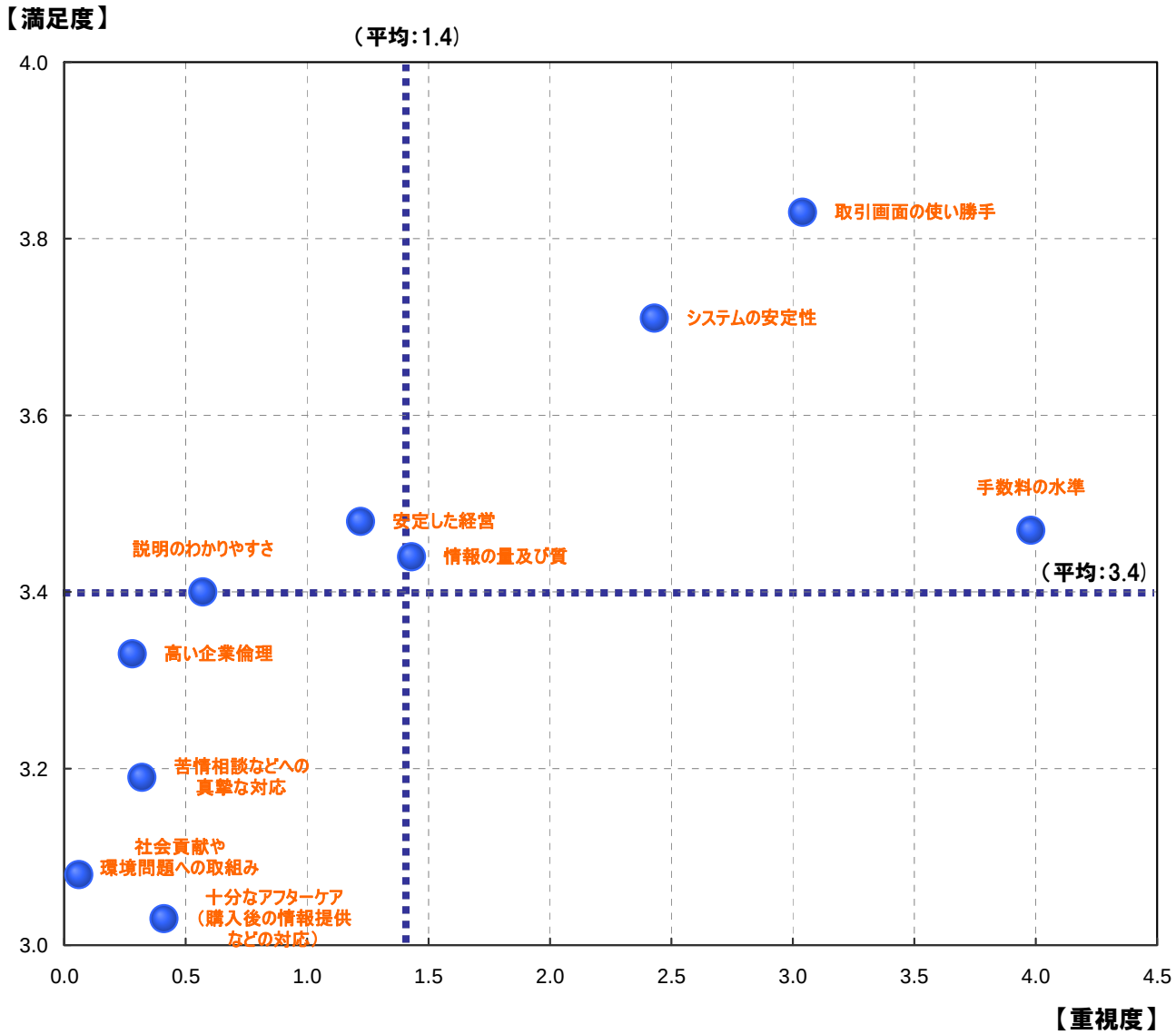


2） 証券会社等に対する満足度と重視点-【インターネット取引】

●投資家（インターネット取引）において、5点満点での満足度の平均は3.4、重視度の平均は1.4であった。

●「取引画面の使い勝手」「システムの安定性」「手数料の水準」は重視されており、満足度も高い。

●「社会貢献や環境問題への取組み」「十分なアフターケア（購入後の情報提供などの対応）」については、満足度が低いが、重視点としても低い項目であった。



3）関心のある金融商品

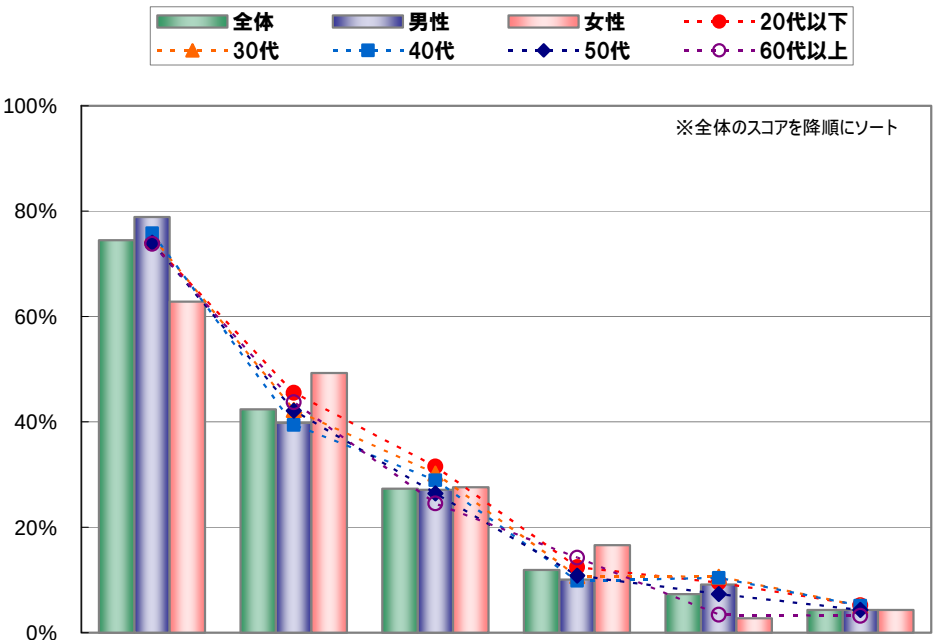
Q：あなたが今、関心のある金融商品を選んでください。（2つまで）

●投資家全体でみると、「株式」が74.5％で最も高い。次いで、「投資信託」が42.4％であった。

●性別でみると「株式」では、男性78.9％に対し女性が62.8％で、男性の方が16.1ポイント高い。

●年代別でみると「株式」では、40代が75.8％で最も高い。「投資信託」では、20代以下が45.5％で最も高い。

●投資態度でみると「株式」では、対面取引61.2％に対しインターネット取引が81.6％で、インターネット取引の方が20.4ポイント高い。「投資信託」では、対面取引の方が高い。



		(n=)	株式	投資信託	外国証券（株式、投資信託、公社債）	公社債	デリバティブ商品（FX取引、証券CFD取引、先物オプション取引など）	その他
全体		25,170	74.5	42.4	27.3	11.9	7.3	4.3
性別	男性	18,250	78.9	39.8	27.1	10.1	9.1	4.3
	女性	6,914	62.8	49.3	27.6	16.6	2.7	4.3
年代別	20代以下	1,625	73.9	45.5	31.5	12.4	9.5	5.2
	30代	4,630	75.1	42.3	30.2	10.7	10.6	5.1
	40代	5,117	75.8	39.4	28.9	9.8	10.4	5.1
	50代	4,985	74.0	42.1	26.4	10.8	7.3	4.3
	60代以上	8,799	73.8	43.7	24.5	14.2	3.4	3.2
投資態度	投資家（対面取引）	8,758	61.2	50.5	31.0	17.1	2.3	3.4
	投資家（インターネット取引）	16,412	81.6	38.1	25.3	9.1	10.0	4.7

(%)

スコア：全体より10ポイント以上高いスコア　　スコア：全体より10ポイント以上低いスコア

1.「投資家」と証券投資

4） 金融商品や証券会社のサービスに求めること

Q：前問でお答えになった金融商品や、その他証券会社等が提供するサービスに対し、
あなたがさらに求めることは何ですか？

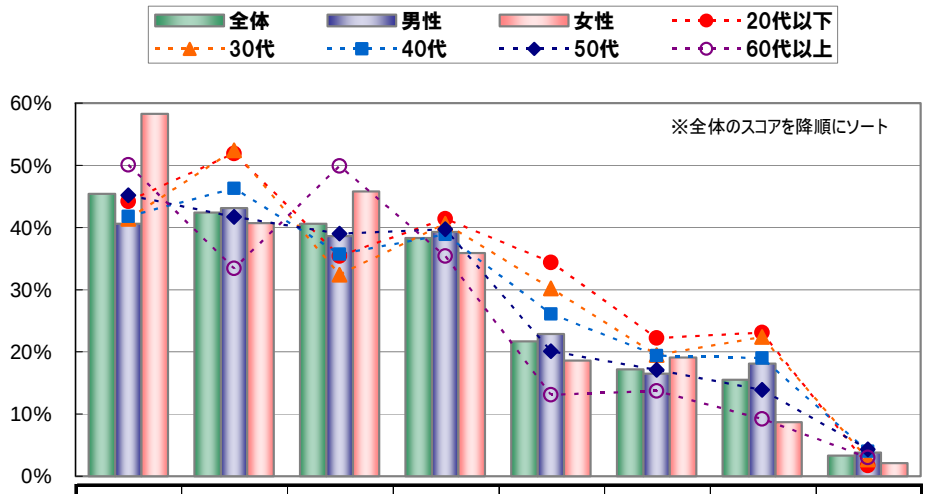
●全体でみると、「わかりやすい商品説明」が45.4%で最も高い。次いで、「取引や商品にかかるコストの透明化」が42.4%であった。

●性別でみると「わかりやすい商品説明」では、男性40.6%に対し女性が58.3%で、女性の方が17.7ポイント高い。

●年代別でみると「取引や商品にかかるコストの透明化」では、30代が52.4%で最も高い。

●投資態度でみると「わかりやすい商品説明」では、対面取引56.8%に対しインターネット取引が39.6%で、対面取引の方が17.2ポイント高い。「取引や商品にかかるコストの透明化」では、インターネット取引の方が高い。

●関心金融商品でみると、「わかりやすい商品説明」では外国証券が56.3%で最も高い。



		(n=)	わかりやすい商品説明	取引や商品にかかるコストの透明化	保有している商品の価格情報の充実	リターンの向上	商品・サービスの品揃えの拡充	口座開設や購入等の際の手続きの簡素化	取引機会（取引できる場所や方法等）の拡大	この中にはない
全体		24,909	45.4	42.4	40.6	38.3	21.7	17.2	15.5	3.3
性別	男性	18,084	40.6	43.1	38.6	39.3	22.9	16.5	18.1	3.8
	女性	6,820	58.3	40.7	45.8	35.9	18.6	19.1	8.7	2.1
年代別	20代以下	1,625	44.2	51.9	35.4	41.4	34.4	22.2	23.1	1.7
	30代	4,627	41.4	52.4	32.4	40.6	30.2	19.5	22.4	2.7
	40代	5,116	41.8	46.3	35.7	38.9	26.1	19.4	19.0	4.0
	50代	4,971	45.2	41.7	39.0	39.7	20.1	17.1	13.9	4.3
	60代以上	8,557	50.1	33.4	49.9	35.4	13.1	13.7	9.2	3.0
投資態度	投資家（対面取引）	8,497	56.8	32.2	49.6	36.6	16.2	16.5	7.9	0.8
	投資家（インターネット取引）	16,412	39.6	47.7	36.0	39.3	24.6	17.5	19.5	4.7
関心金融商品	株式	18,520	43.4	42.4	40.4	37.3	20.5	17.2	16.7	3.9
	投資信託	10,559	52.8	47.3	45.3	45.4	23.9	16.9	10.8	1.1
	外国証券	2,960	56.3	42.4	45.3	35.7	22.6	18.2	12.4	1.8
	公社債	6,818	48.7	49.6	43.2	42.6	31.4	18.5	18.7	1.1
	デリバティブ商品	1,835	31.1	47.8	28.8	37.8	31.4	21.8	36.5	5.6
	その他	1,068	42.2	44.1	33.1	36.5	24.0	19.9	22.2	6.3

(%)

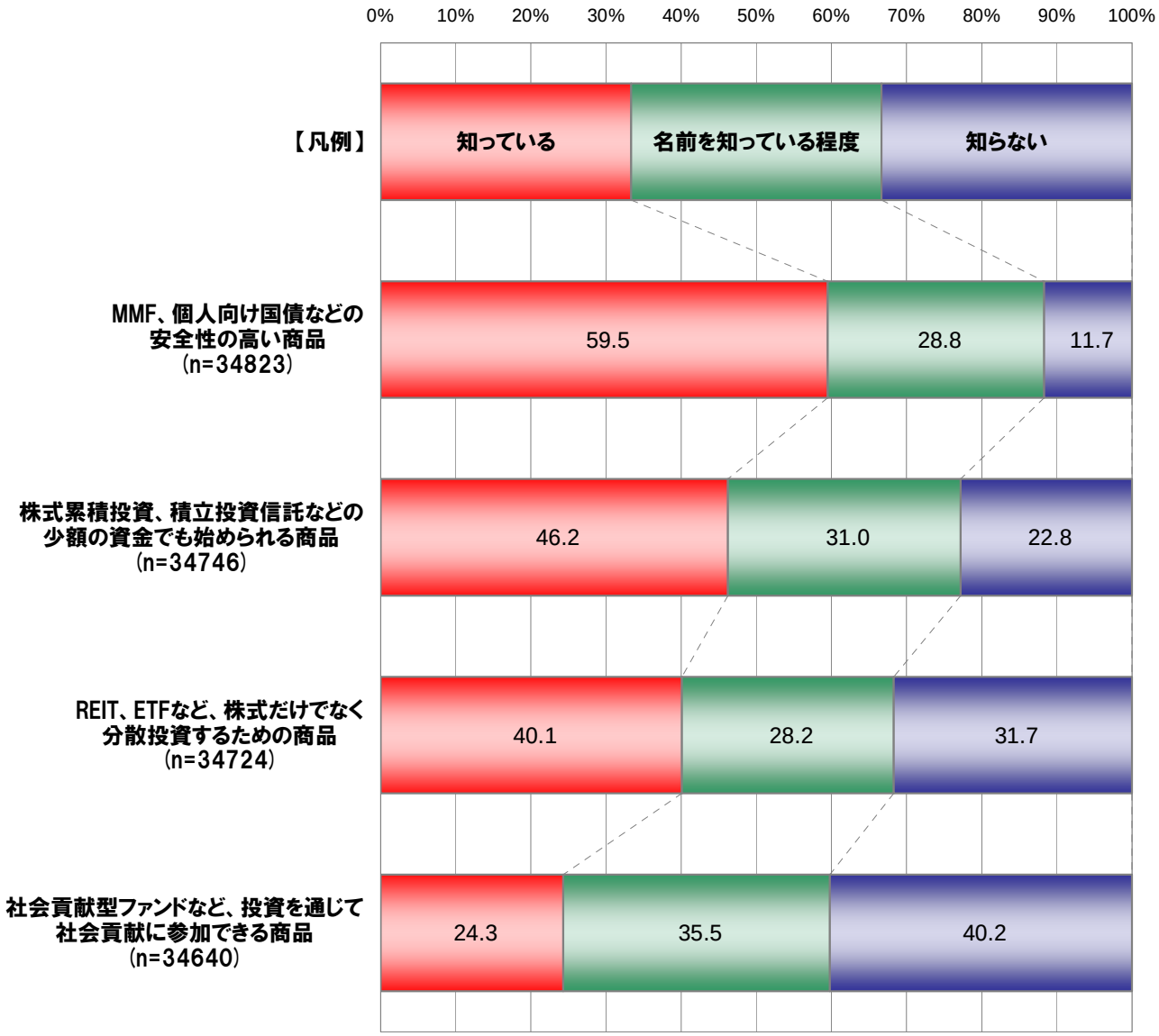
スコア ：全体より10ポイント以上高いスコア　　スコア ：全体より10ポイント以上低いスコア

2. 証券投資に関する理解と要望

1）商品・サービスの認知度

Q：あなたがご存知の証券会社等の商品・サービスをお聞かせください。

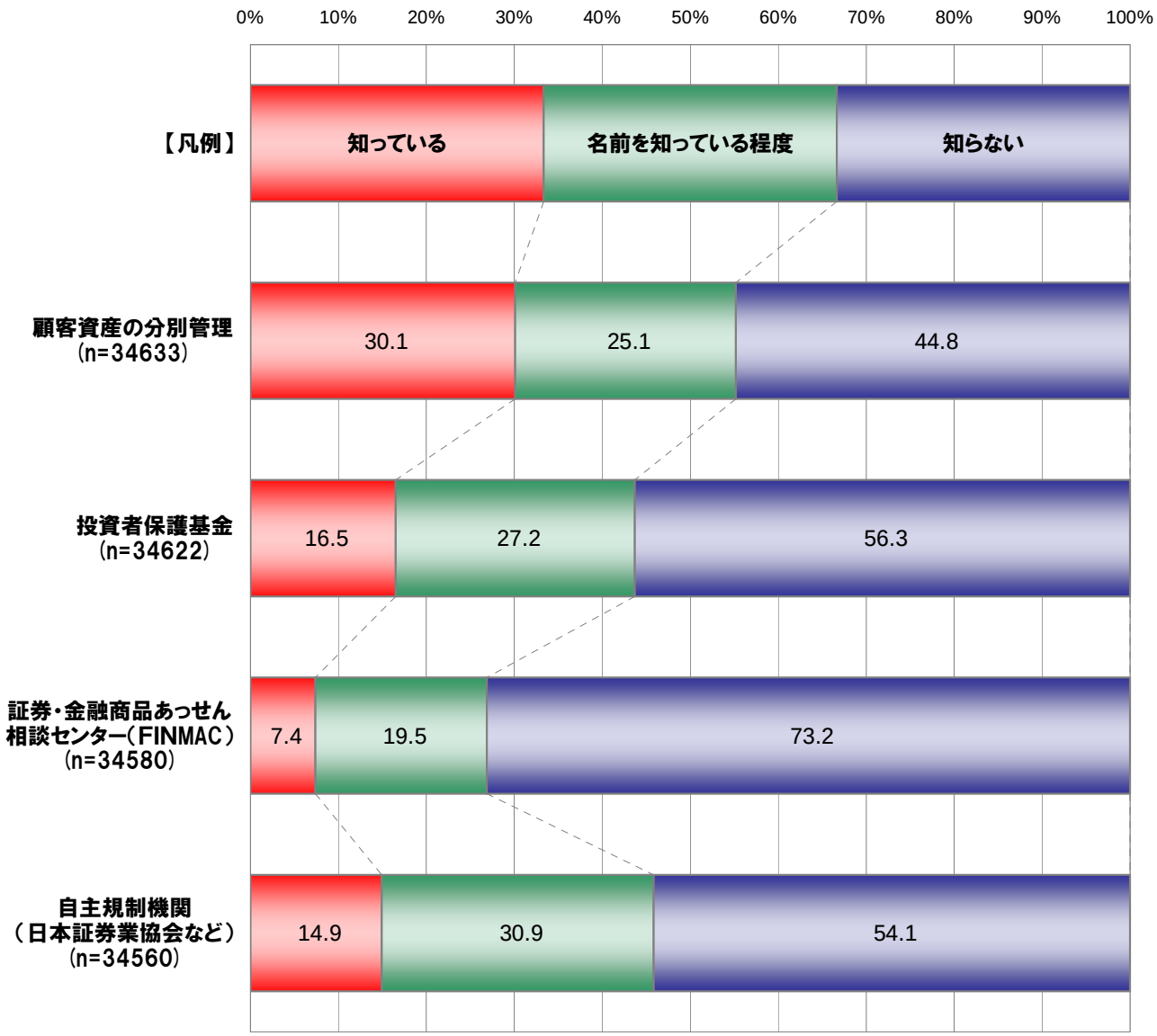
●全体でみた「知っている」では、「MMF、個人向け国債などの安全性の高い商品」が59.5％で最も高い。
次いで、「株式累積投資、積立投資信託などの少額の資金でも始められる商品」が46.2％、
「REIT、ETFなど、株式だけでなく分散投資するための商品」が40.1％、「社会貢献型ファンドなど、投資を通じて社会貢献に参加できる商品」が24.3％であった。



2）制度・機関の認知度

Q：あなたがご存知の制度や機関をお聞かせください。

●全体でみた「知っている」では、「顧客資産の分別管理」が30.1％で最も高い。
次いで、「投資者保護基金」が16.5％、「自主規制機関（日本証券業協会など）」が14.9％、
「証券・金融商品あっせん相談センター（FINMAC）」が7.4％であった。



2. 証券投資に関する理解と要望

3）法律やルールについて

Q：証券投資をめぐる法律やルールについてお聞かせください。

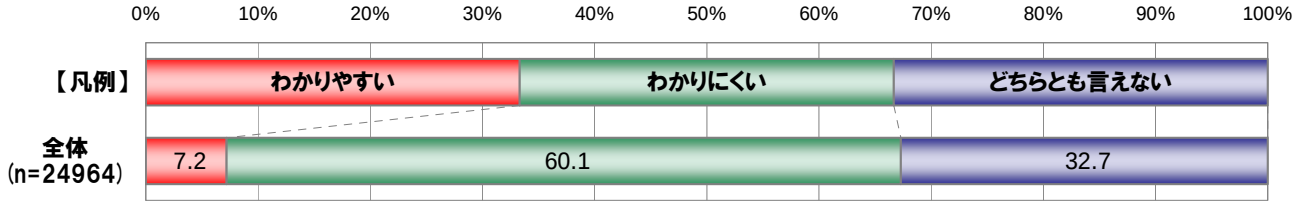
●現行の法律やルールは、投資家全体で
「わかりやすい」が7.2%、「わかりにくい」が60.1%であった。

●商品を購入する際に受ける説明や書面について、投資家全体で
「過剰に感じる」が49.3%、「適切である」が40.1%、「足りない」が10.6%であった。

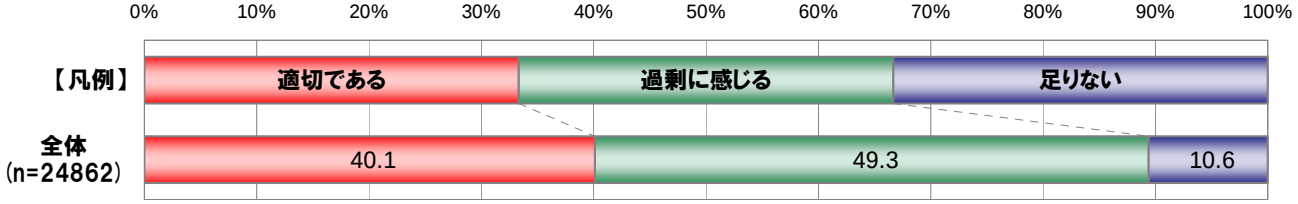
●あなたが安心して証券投資を行ううえで特に強化すべきことは、全体で
「不公正な取引等への厳格な対応」が34.5%で最も高い。次いで、「悪質な業者・営業員の排除」が32.9%であった。

●あなたが今後期待することは、全体で
「上場株式等の軽減税率の維持」が47.8%で最も高い。次いで、「財産形成制度の拡充」が18.8%であった。

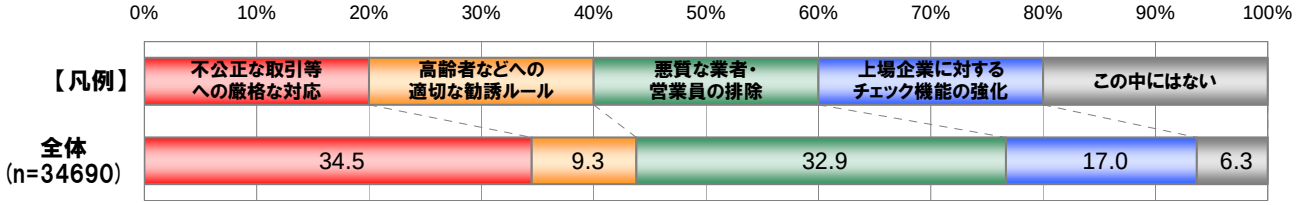
【現行の法律やルールはわかりやすいですか？】



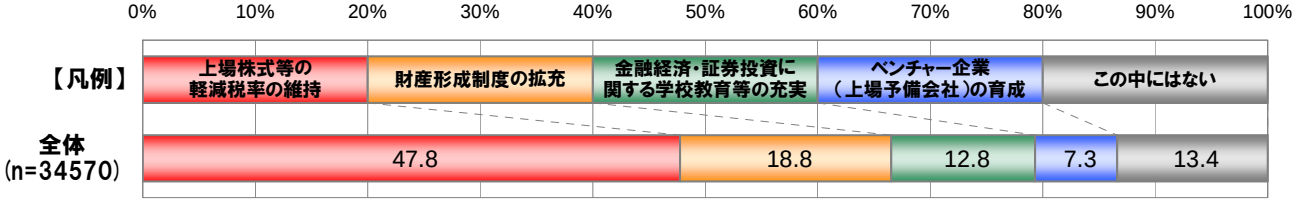
【商品を購入する際に受ける説明や書面について、どう思いますか？】



【あなたが安心して証券投資を行ううえで、特に強化すべきことはなんですか。】



【あなたが今後期待することは何ですか？】



2. 証券投資に関する理解と要望

4）証券市場の発展のために取り組むべきこと（自由回答）【投資家・投資経験者】

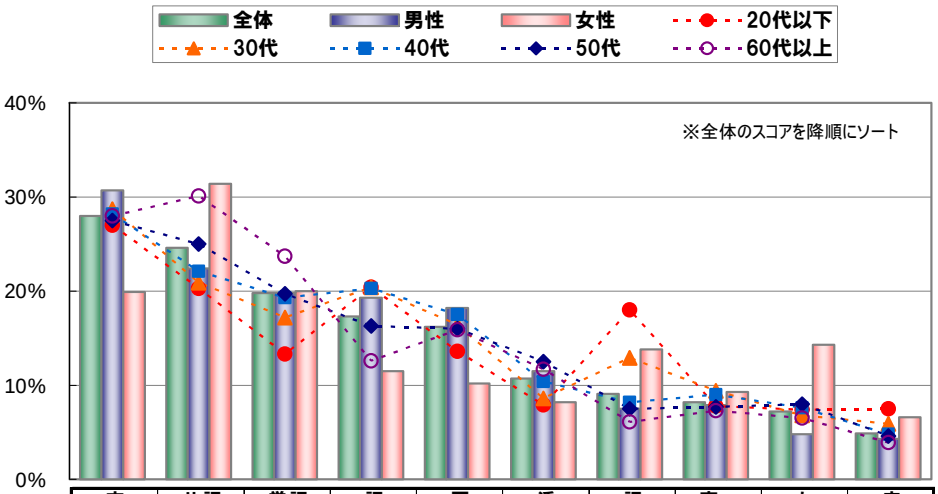
Q：証券市場のさらなる発展のため、どのようなことに取り組むべきか、ご意見があればご記入ください。（自由回答）

「要望意見あり」の方のうち、「投資家（対面取引）」「投資家(インターネット取引)」「投資経験者(過去に経験有り)」の方について、記入意見を複数回答扱いで分類分けした。

●投資家（対面取引・インターネット取引）・投資経験者全体でみると、「市場の活性化」が28.0％で最も高い。
次いで、「証券会社等のサービス等の向上」が24.6％であった。

●性別でみた「市場の活性化」では、男性30.7％に対し女性が19.9％で、男性の方が10.8ポイント高い。

●年代別でみた「市場の活性化」では、30代が28.7％で最も高い。



		(n=)	市場の活性化	証券会社等のサービス等向上	証券会社等の営業姿勢改善	証券税制の改正等	不公正取引の排除	透明性の確保	証券教育の推進	ニーズにあった商品の提供	わかりやすさの向上	広報活動の推進
全体		10,707	28.0	24.6	19.8	17.3	16.2	10.7	9.1	8.2	7.2	4.9
性別	男性	8,019	30.7	22.4	19.8	19.3	18.2	11.5	7.5	7.9	4.8	4.3
	女性	2,686	19.9	31.4	20.0	11.5	10.2	8.2	13.8	9.3	14.3	6.6
年代別	20代以下	705	27.0	20.3	13.3	20.4	13.6	7.9	18.0	7.8	7.4	7.5
	30代	2,265	28.7	20.9	17.2	20.4	16.4	8.6	12.9	9.4	6.8	5.9
	40代	2,480	28.2	22.1	19.3	20.3	17.5	10.4	8.2	9.0	7.6	4.8
	50代	2,136	27.5	25.0	19.7	16.3	16.0	12.5	7.5	7.7	8.0	4.6
	60代以上	3,115	28.0	30.1	23.7	12.6	15.9	11.7	6.1	7.3	6.5	3.9
投資態度	投資家（対面取引）	2,621	23.7	35.9	24.8	12.5	10.0	7.3	9.0	9.1	10.5	5.0
	投資家（インターネット取引）	7,364	30.2	20.8	17.7	19.9	18.1	12.0	9.0	7.7	5.9	4.8
	投資経験者	722	21.1	22.6	23.7	8.3	19.3	9.6	10.9	10.5	8.3	5.4
	有関心層	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無関心層	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(%)

スコア：全体より10ポイント以上高いスコア　　スコア：全体より10ポイント以上低いスコア

2. 証券投資に関する理解と要望

4） 証券市場の発展のために取り組むべきこと（自由回答）【投資未経験者】

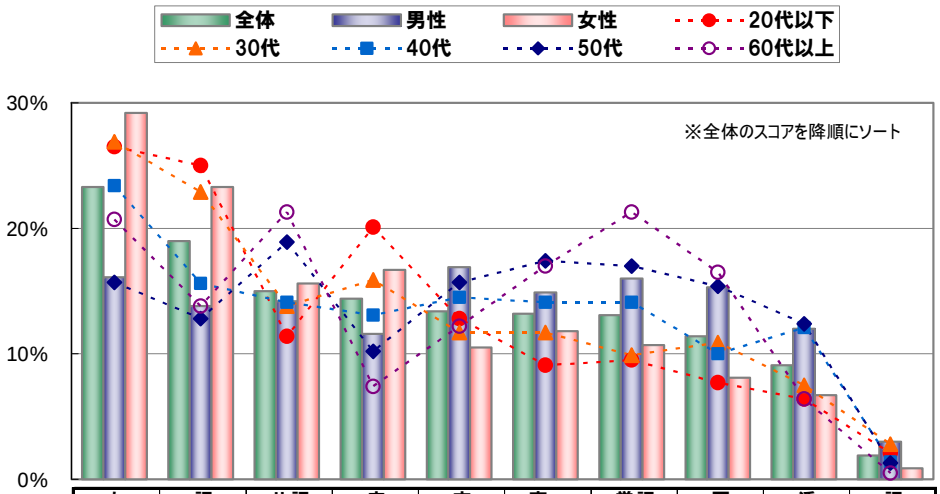
Q：証券市場のさらなる発展のため、どのようなことに取り組むべきか、ご意見があればご記入ください。（自由回答）

「要望意見あり」の方のうち、「投資未経験者（有関心層）」「投資未経験者(無関心層）」の方について、
記入意見を複数回答扱いで分類分けした。

●投資未経験者（有関心層・無関心層）全体でみると、「わかりやすさの向上」が23.3％で最も高い。
次いで、「証券教育の推進」が19.0％であった。

●性別でみた「わかりやすさの向上」では、男性16.1％に対し女性が29.2％で、女性の方が13.1ポイント高い。

●年代別でみた「わかりやすさの向上」では、30代が26.9％で最も高い。



		(n=)	わかりやすさの向上	証券教育の推進	証券会社等のサービス等向上	広報活動の推進	市場の活性化	ニーズにあった商品の提供	証券会社等の営業姿勢改善	不公正取引の排除	透明性の確保	証券税制の改正等
全体		2,270	23.3	19.0	15.0	14.4	13.4	13.2	13.1	11.4	9.1	1.9
性別	男性	1,025	16.1	13.8	14.2	11.6	16.9	14.9	16.0	15.3	12.0	3.0
	女性	1,245	29.2	23.3	15.6	16.7	10.5	11.8	10.7	8.1	6.7	0.9
年代別	20代以下	517	26.5	25.0	11.4	20.1	12.8	9.1	9.5	7.7	6.4	2.1
	30代	617	26.9	22.9	13.8	15.9	11.7	11.7	9.9	10.9	7.5	2.8
	40代	488	23.4	15.6	14.1	13.1	14.5	14.1	14.1	10.0	12.1	1.4
	50代	460	15.7	12.8	18.9	10.2	15.7	17.4	17.0	15.4	12.4	1.3
	60代以上	188	20.7	13.8	21.3	7.4	12.2	17.0	21.3	16.5	6.4	0.5
投資態度	投資家（対面取引）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	投資家（インターネット取引）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	投資経験者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有関心層	1,264	22.5	23.0	17.2	14.0	12.7	12.5	12.1	10.7	8.3	2.4
	無関心層	1,006	24.3	13.9	12.2	14.9	14.3	14.1	14.3	12.2	10.1	1.2

(%)

スコア ：全体より10ポイント以上高いスコア　　スコア ：全体より10ポイント以上低いスコア

Ⅱ

平成22年「投資の日」イベントアンケート調査結果より

調査概要

【調査目的】

証券投資に対する信頼性を向上させ、証券市場のさらなる発展を目指すため、現状における利用者等（投資家、投資経験者及び一般消費者）からの満足度、意見等を把握し、今後の施策の検討に際しての基礎資料とする。

【調査対象】

全国の証券会社等の利用者及び未利用者

【有効サンプル数】

5,849サンプル

【調査方法】

・書面によるアンケート調査

本協会が主催する「投資の日」記念イベント（全国9地区29会場）会場への来場者に対しアンケート用紙を配布

【調査期間】

平成22年9月26日（日）～10月30日（土）

1. 回答者属性

●回答者の地域別回収状況は、下表のとおりであった。

●性別：男性が全体の68.8%を占め、女性は31.2%であった。

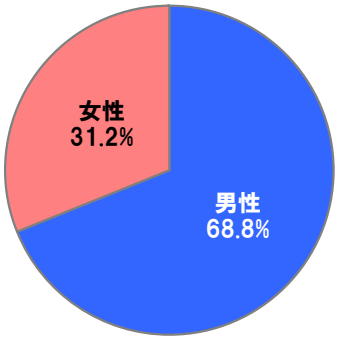
●年代別：「60代以上」が56.4%で最も多く、次いで「50代」が14.9%であった。「20代以下」の若年層は5.6%に留まる。

●職業別：「無職」が38.7%で最も多く、次いで「会社員」が28.1%であった。

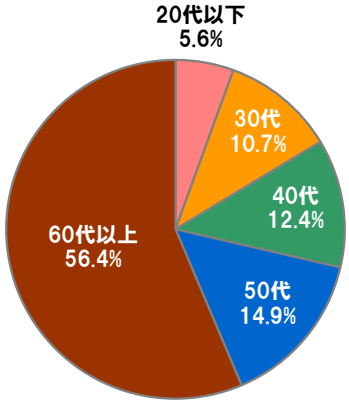
地域別（回答者数：5,849名）

東京（4会場）	大阪（6会場）	名古屋（4会場）	北海道（2会場）	東北（1会場）	北陸（1会場）	中国（7会場）	四国（1会場）	九州（3会場）	合　計
1,671	1,389	868	261	341	165	738	81	335	5,849

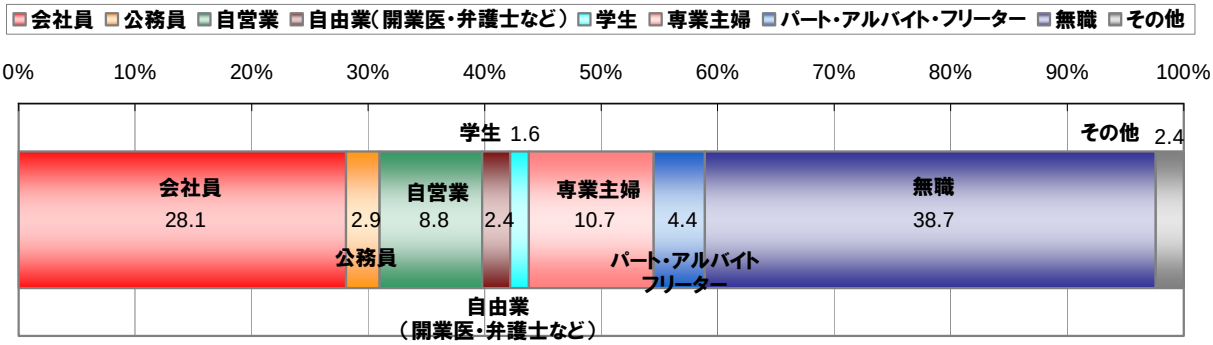
性別（回答者数：5,791名）



年代別（回答者数：5,774名）



職業別（回答者数：5,719名）



2. 結果概要

《全体への質問回答》

●証券投資を現在行っている人は75.8%、過去に経験はあるが、現在は証券投資を行っていない人は6.1%、未経験者は18.1%であった。 60代以上の人の88.1%が、証券投資を現在行なっている。

●証券業界への意見要望(自由回答)は、「証券教育の推進」が30.0%、次いで「証券会社等のサービス等向上」が28.2%、「証券会社等の営業姿勢改善」が27.7%であった。「証券教育の推進」は20代以下で53.8%、投資未経験者で44.3%、女性で40.5%と高い。

●証券投資の理解を深める方法として、79.0%が「講座やセミナーへの参加」を挙げた。

●証券会社や金融機関に期待することとして、64.0%が「迅速・的確な情報提供」を挙げた。

《現在、証券投資を行っている人のみの質問回答》

●投資の経験年数は、30.4%が「20年以上」であった。
年代が上がるにつれ経験年数は長くなり、60代以上の「20年以上」は39.1%であった。

●投資の判断は、58.2%が「自分で調べる」であった。その割合は、女性より男性の方が高い。

●投資の対象は、85.6%が「株式」、次いで「投資信託」が61.6%であった。

●証券会社や金融機関を選択する基準は、53.0%が「情報の質及び量」、次いで39.3%が「手数料の安さ」であった。40代以下では「手数料の安さ」が6割前後であった。

●今関心のある金融商品は、73.8%が「株式」、次いで43.2%が「投資信託」であった。

●今関心のある金融商品や、その他証券会社等が提供するサービスに対しさらに求める事は、「よりわかりやすく、十分な情報(手数料の額や徴収方法を含む)の開示や説明」が59.6%、次いで「投資家(既存株主等)へのさらなる利益(配当等)の還元」が45.8%であった。

●安心して証券投資を行ううえで、証券投資の諸制度(金融商品取引法、日本証券業協会の自主ルール、証券税制など)において必要なことは、69.8%が「簡素で誰にでもわかりやすい制度」であった。

●幅広い層の方々が安心して証券投資できるための制度や商品について、74.5% の回答者が「証券会社等が預かる顧客の資産は、証券会社自身の資産とは別に、安全・確実に管理されている。」を認知していた。

《現在、証券投資を行っていない人のみの質問回答》

●証券投資を現在行っていない人(未経験者を含む)の61.8%が、証券投資を現在行っていない理由として「よくわからない(知識がない)」を挙げた。